

1 2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

開 催 年 月 日	令 和 元 年 1 2 月 2 6 日 (木)																								
開 催 日 時	午 後 3 時 0 0 分																								
開 催 場 所	別 館 3 階 大 会 議 室																								
出 席 委 員	<table border="0"> <tr> <td>教 育 長</td> <td>三 笈 眞 治 郎</td> <td>職 務 代 理 者</td> <td>諫 本 憲 司</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>永 山 眞 江</td> <td>委 員</td> <td>岡 部 博 昭</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>木 下 靖 郎</td> <td>委 員</td> <td>奥 平 和 子</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>古 田 嘉 寿 美</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	教 育 長	三 笈 眞 治 郎	職 務 代 理 者	諫 本 憲 司	委 員	永 山 眞 江	委 員	岡 部 博 昭	委 員	木 下 靖 郎	委 員	奥 平 和 子	委 員	古 田 嘉 寿 美										
教 育 長	三 笈 眞 治 郎	職 務 代 理 者	諫 本 憲 司																						
委 員	永 山 眞 江	委 員	岡 部 博 昭																						
委 員	木 下 靖 郎	委 員	奥 平 和 子																						
委 員	古 田 嘉 寿 美																								
出 席 参 与	<table border="0"> <tr> <td>教 育 次 長</td> <td>河 野 徹</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>西 胤 英 明</td> <td>社 会 教 育 課 長</td> <td>梶 原 文 人</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長 (代 理)</td> <td>島 崎 勝 幸</td> <td>兼 博 物 館 長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長</td> <td>橋 本 隆 文</td> <td>淡 窓 図 書 館 長</td> <td>林 純 子</td> </tr> <tr> <td>兼 世 界 遺 産 推 進 室 長</td> <td></td> <td>ス ポ ー ツ 振 興 課 長</td> <td>河 津 成 一 郎</td> </tr> <tr> <td>学 校 給 食 課 長</td> <td>池 内 誠 二</td> <td>人 権 ・ 同 和 教 育 課 長</td> <td>伊 藤 伸 也</td> </tr> </table>	教 育 次 長	河 野 徹			学 校 教 育 課 長	西 胤 英 明	社 会 教 育 課 長	梶 原 文 人	文 化 財 保 護 課 長 (代 理)	島 崎 勝 幸	兼 博 物 館 長		咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長	橋 本 隆 文	淡 窓 図 書 館 長	林 純 子	兼 世 界 遺 産 推 進 室 長		ス ポ ー ツ 振 興 課 長	河 津 成 一 郎	学 校 給 食 課 長	池 内 誠 二	人 権 ・ 同 和 教 育 課 長	伊 藤 伸 也
教 育 次 長	河 野 徹																								
学 校 教 育 課 長	西 胤 英 明	社 会 教 育 課 長	梶 原 文 人																						
文 化 財 保 護 課 長 (代 理)	島 崎 勝 幸	兼 博 物 館 長																							
咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長	橋 本 隆 文	淡 窓 図 書 館 長	林 純 子																						
兼 世 界 遺 産 推 進 室 長		ス ポ ー ツ 振 興 課 長	河 津 成 一 郎																						
学 校 給 食 課 長	池 内 誠 二	人 権 ・ 同 和 教 育 課 長	伊 藤 伸 也																						
書 記	教 育 総 務 課 総 務 企 画 係 主 幹 (総 括) 塚 原 美 保																								
附 議 議 案	<p>報 告 第 21 号 令 和 元 年 11 月 期 寄 附 採 納 に つ い て</p> <p>報 告 第 22 号 令 和 元 年 度 日 田 市 児 童 生 徒 の 体 力 ・ 運 動 能 力 等 調 査 結 果 と 分 析 (概 要) に つ い て</p> <p>報 告 第 23 号 令 和 2 年 日 田 市 成 人 式 に つ い て</p>																								

<p>教 育 長</p>	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>ただいまから、12月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>前回議事録の確認でございますが、11月定例教育委員会議事録について変更はございませんでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）御了解いただきましたら、本会議終了後に御署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の報告事項でございますが、お手元に配付しております一般報告資料により、報告にかえさせていただきます。</p> <p>続きまして本日は報告事項のみとなっております。</p> <p>まず報告第 21 号について説明をお願いいたします。</p>
<p>書 記</p>	<p>議案集の 1 ページをお願いいたします。</p> <p>報告第 21 号、令和元年 11 月期の寄附採納についてでございます。</p> <p>まず地区寄附の採納が 1 団体 1 件でございますが、五反田病院理事長、五反田利幸様から若宮小学校へ現金 10 万円を御寄附いただいております。なお、五反田病院様からは、平成 13 年より継続して御寄附をいただいております。</p> <p>次に一般寄附の採納が、2 団体 2 件でございますが、1 件目が大分市の J A 大分 G A P 研究会様から教育委員会及び市内の各中学校へ、書籍「生き物調査と里山ハーブでたんぼソムリエになる」を 13 冊、2 万 8 千 80 円相当を御寄附いただいております。</p> <p>同研究会は、安心安全な農業経営に向けた取組といたしまして、農業生産工程の管理、いわゆる「G A P」に取り組んでおり、今回、その中で、環境保全についての知識を深めていただきたいとの趣旨により、県内の教育委員会及び各中学校に関連の書籍を御寄附いただいたものでございます。</p> <p>2 件目が日田中央ロータリークラブ様から高瀬小学校へ、児童図書 41 冊、6 万 6 千 85 円相当を御寄附いただいております。</p> <p>同クラブからは、青少年育成事業の一環といたしまして、6 名の会員の方が高瀬小学校にて読み聞かせを行っていただくとともに、児童図書を御寄附いただいたものでございます。なお、本事業は、昨年の咸宜小学校に続きまして 2 回目とのことでございます。</p> <p>11 月につきましては、以上 3 件、金額が 10 万円、物品相当額が 9 万 4 千 165 円、合計 19 万 4 千 165 円の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第 21 号につきましては、以上でございます。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ただいまの報告第 21 号、11 月期の寄附採納につきまして、説明がございました。何か御質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは無いようですので、続きまして、報告第 22 号について説明をお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案集の 2 ページをお願いいたします。</p> <p>報告第 22 号、令和元年度日田市児童生徒の体力運動能力等調査結果と分析についてでございます。</p> <p>この体力運動能力調査は、児童生徒の体力や運動能力を把握し、体育や保健体育の授業の工夫改善のための資料に活用することなどを目的として、毎年 1 学期中に、市内全ての小中学校で実施しているものでございます。</p> <p>種目は、握力や上体起こしなど 8 種目、4 年生以上では、生活習慣や運動習慣を調査する質問紙も同時に行っております。その質問紙の中から特に体力・運動能力と関係の深い、「ほとんど毎日運動している児童生徒」の割合と、「運動することが好きな児童生徒」の割合を表の右側に載せております。</p> <p>表の縦列は 6 歳が小 1、14 歳を中 3 として男女別の結果を一覧にしています。調査結果につきましては、各学年の男女ごとの平均値を昨年度の全国平均値や日田市平均値との比較で表しております。全国を超えた項目に丸印、昨年度の日田市結果を超えた項目にダイヤモンドのマークをつけております。</p> <p>それでは、表を見ながら、表の下にございます、調査結果の分析についてご説明いたします。はじめに、(1) 体力・運動能力の測定値平均についてでございます。</p> <p>まず、白丸で示しております、全国平均以上の項目数についてですが、小学校では男女合計 96 項目中 51 項目で全国平均を上回っており、過半数の項目で全国平均以上となっております。一方中学校では、男女合計 48 項目のうち、全国平均を超えたのは、17 項目にとどまっております、過半数の項目で全国平均を下回る結果となっております。</p> <p>また、ダイヤモンドマークで示しております、昨年度の日田市平均値を上回った項目でございますが、小学校では、男女合わせて 96 項目中 33 項目、中学校では同じく男女合わせて 48 項目中 21 項目、昨年度を上回っております。特に中学男子におきましては、昨年度の市の平均を上回った項目が 24 項目中 17 項目に上っており、向上が図られております。</p> <p>調査項目別では、小学校で握力、上体起こし、長座、体前屈、中学校では長座体前屈、反復横跳びが良好な結果でありました</p>

が、小中ともに50メートル走に課題があるという結果でした。

次に、(2)の総合評価C以上の割合についてでございます。

この総合評価といいますのは、全ての種目の結果を10点満点に得点化して合計し、その合計点をAからEの5段階に評価したものでございます。つまり、C以上の割合といいますのは、5段階評価で言いますと3以上の割合ということになります。

その総合評価C以上の割合は、小学校では、全国の割合を上回った項目数は12項目中8項目となり、低体力層の底上げが図られているという結果を示しております。一方中学校では、男女全ての学年で全国の割合を上回ることができませんでしたことから、低体力層の底上げが課題と捉えております。

ここで1点資料の訂正がございます。2の調査結果の分析の四角囲みの中の(2)日田市の総合評価C以上の割合が全国の割合を上回った学年数につきまして、中学校が6学年分の1となっておりますが、上の一覧表に基づき、1を0に訂正いただきますようお願いいたします。

(3)の生活運動習慣につきましては、「ほとんど毎日運動している」の割合は小学校の男子を除き、大分県の割合を上回っており、これに加えて、特に中学校は、男女ともに昨年度日田市の割合も上回ることができ、良好な結果でありました。「運動することが好き」の割合は中学校の女子を除き、大分県の割合を上回っております。

このような調査結果を受けまして、今後の全体的な改善点としましては、二重丸で記述しておりますように、大きく2点です。1点目は、運動の機会と量の確保、2点目は、興味関心を持たせながら、特に走る、「走」運動の機会を授業や特別活動等において増やすことでございます。具体的には、各学校では、「わかる・できる・楽しい」を実感できる授業づくりをしたり、縄跳びなど運動の日常化・習慣化につながる体力向上に向けた全校での取組、1校1実践の推進など、今回の調査結果を受けて、課題を分析し、改善策を実行していくこととなります。

特に授業においては、例えば、マット運動や飛び箱などをたくさん準備して、たくさん場を設けることで、習熟度に分けたり、運動回数を多くしたりすることによって、効率的、効果的な学習となることが期待できる、いわゆる「少数多場」となる運動環境の工夫を推進していくことが必要であると捉えております。

また、学校教育課としましては、今回の日田市全体の調査結果と今後の対策を校長会や体育主任会等で還流したり、体育専科教員のいる研究指定校での実践事例の周知や公開授業を行ったりす

<p>教 育 長</p>	<p>るなど、教員の指導力向上に向けて、今後も取り組んでまいりたいと考えています。特に中学校男子については、各学校における優良事例の情報共有を推進することを通して改善を図ってまいりたいと考えております。さらに、家庭においては、よく動き、よく食べ、よく眠るといような運動・食事・睡眠のバランスのとれた生活習慣を確立できるよう、学校と家庭が連携した取組がさらに推進されるよう働きかけてまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>それでは報告第 22 号、令和元年度日田市児童生徒の体力・運動能力等調査結果と分析について、何かご質疑等ございませんでしょうか。</p>
<p>諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者</p>	<p>毎年、こうして結果と報告があり、分析をされていますけど、説明の中にあつたかと思いますが、必ず伸びていかなければならないというものは多分、ないというふうに思っていますし、ここで平均を上回るとか下回るといっても、その数字というのは、恐らく微々たるものだろうというふうに予想しますけれども、問題なのはその中で、特別何か劣っているとか、どこかの地域は病欠が多いだとか、そういうふうな傾向が見られるとかいうのはもちろんこういう中から探っていくべきだろうと思えますけれども、そういう極端なことはここには出てきませんけれども、ないですよ。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>特に課題となる項目については、継続的に言えば 50 メートル走が、小中ともに他の項目に比べると、上回ることが少ないという日田市の課題はあります。ただそれが極端に数値が低いというようなことではありませんし、中学校の運動を部活動等のケースで結果等も踏まえて考えたときに、著しく日田市の子供たちが劣るというようなことではないというふうに捉えております。</p>
<p>諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者</p>	<p>全国的なこととか、県内のこととかで細かい分析はあるものの、特別な問題はなくて、水準として概ねどの辺にあるかというのは、説明できますか。全国的にとか、県内でこれぐらいの位置にあるのではなかろうかということは、もし、概略でもよければ少し説明いただければと思うんですが。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>全国的な県の位置づけについては、具体的にはこの平均測定値の比較ということになります。例えば学力調査のように、市町村</p>

	<p>別の数値が公表されるということは、体育についてはございませんので、平均との比較で考えていくということで、いわゆる順位的なことまでは実はわからないというのが現状でございます。学校別の数値については、私どもにも報告がありますので、学校別の数値を見ながら分析はしますが、学校別で極端に差があるという現状にはありません。どこもいわゆる1校1実践の取組が進んでおりますので平準的な結果であります。その中で課題とすれば先ほど申し上げましたように50メートル走というのが長期的な課題というふうに捉えております。以上でございます。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>私もこういう細かい分析があつてこそ、何もない、概ね良好だというようなことが言えるんだろうと思うので、やはり大事なことは去年よりもとかいうことではないんですけども、生活運動習慣、毎日運動している状況があるのかとか、運動が好きで運動がすぐできるような子供であるのかとかいうことのほうがやっぱり大事だろうと思いますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>中学校ではほとんどの子供たちは運動部活動に入っております。それから小学校については、1校1実践の中で外遊びの楽しさを学校のほうで育てている。それが休みとか、放課後に子供たちの自然なそういう遊びにつながっていけばというふうに考えております。</p>
<p>岡部委員</p>	<p>今課長さんおっしゃいましたけど、この前から学校訪問をさせていただきましたが、各学校ともそれぞれ、朝ランニングしたり、縄跳びしたりで結構取り組んでますので、課題もありそうですけど、現場では頑張ってくれているのではないかという気はします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>岡部委員のおっしゃるとおり、各学校で先ほど言いました1校1実践というのは、子供たちの実態に応じて縄跳びがいいのか、ランニングがいいのかとか学校の先生方が、我が校の子供たちを中心に据えて、1番効果的な取組、ただし運動の楽しさを失わないという原則を持って、いろんな取組をしているというふうに考えておりますので、今後ともそういった方向で各学校を指導してまいりたいと思ひます。</p>

永山委員	運動能力の向上ということで、中学校の体育の専科教員が、現在光岡小に行っていたらと思うんですけど、例えばその先生は、光岡小に行ったらその学校だけなんですか。それともそこを拠点校として市内の小学校のあちこちの体育の様子を見に行くようなそういう機会もあるんですか。
学校教育課長	体育専科教員は、今年度は咸宜小と光岡小に配置をしております。例えば光岡小からいきますと、これがいわゆる本務校になります。それに対して訪問校と連携校というのがあります。一つの拠点校に対して二つの連携校がありまして、ここでは、授業を実際に行います。それからさらに2校訪問校をつくりまして、ここでは実際の担任の授業についての指導助言をします。ですから、1人が4校を基本的に受け持っていますので、2人で8校です。それ以外の学校については、体育専科教員の行う授業を公開しますので、実施するたびに案内を出して、授業に差し支えない程度で来ていただいて、それを紹介しているという状況です。あとは体育主任会がありますので、体育主任の先生方に実践を発表してもらったりとかということで、市全体に取組が行き届くようにはしております。
古田委員	「ボール投げ」で、瞬発力のところが男子があまり良くないのが著しい感じがするんですけども、ボール投げは普通のボールでしょうか。
学校教育課長	小学生がソフトボール、中学生がハンドボールになります。
古田委員	小さいときに、男の子っていつもキャッチボールしてたようなイメージがあるんですけど、今、そういうボール遊びする場所が極端に減っていて、小学生なんて野球を習っている子ぐらいしかキャッチボールすることは余りないからこういうふうになってきているのかとは思ったんですが、それに比べると女子が結構上回っているのはなぜだろうと思ったんですが、何か理由がありますか。
学校教育課長	確固たる分析は今のところ持ち合わせていませんが、まず女子については、今年度が全ての学年で全国平均を上回っております。昨年度も実は小1を除いて全部が上回っているので、確かに委員がおっしゃるように、女子については筋力がついていうふうには捉えております。女子の野球の運動機会とか投げる機会

<p>奥平委員</p>	<p>が多いかという授業の中ではそこまではありませんし、少女野球チームがたくさんあるかというそうではありませんので、そこについては、はっきりした明確なお答えはできません。</p> <p>男子については、今年は二つの学年だけなんですけど、昨年度1～4学年は上回っていますので、若干学年で差があるかなというふうなことは捉えておりますが、これも明確な日田市の環境によるものというふうには分析はできていないというか、恐らくその学年の特徴とかいうことでもないというふうに捉えていますので、この詳細は経年で少し追ってみてですね、委員のおっしゃるような分析ができれば、そこについては手を打っていくのが私どもの役目というふうに思っております。</p> <p>知人が運動トレーナーをされていて、県内ではなく少し遠くでされてた方が今度、大分県の体育専科教員として配置をされるということで、その方は大阪に住まわれていて、帰ってこられるようなんですけど、そのような遠くの方の募集を仰がないと、県下ではそういう体育の専科の先生とかは、なかなか見つからないものなんでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今現在、県下に体育専科教員が24名おりますが、基本的には小学校で体育免許を持っている、それから中学校で体育を主免で持った者が小学校に校種変更するということです。日田市の場合は、今、咸宜小に配置されている教員についてはもともと小学校の教員で体育を専門的にやっている。それからもう1人光岡小に配置している教員については、もともと中学校籍のものを小学校に校種間交流をしてやっております。</p> <p>県全体ではそういう状況ですので、新たに他地域から必ず採用募集する必要があるということではないというふうに捉えております。特に校種間の交流は、今後県教委が進めていく予定でございますので、例えば、英語等も含めて多くの教科ではそういった交流が働きかけられるのではないかとこのように思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>また各学校でより綿密な分析ができると思いますので、学校の御指導もお願いしたいと思います。</p> <p>それでは次にまいりたいと思います。報告第23号について説明をお願いします。</p>

<p>社会教育課長</p>	<p>議案集の3ページをお願いいたします。</p> <p>報告第23号、令和2年日田市成人式について御説明いたします。</p> <p>成人式につきましては来年の1月12日、日曜日、パトリア日田大ホールで開催を予定しております。式典開始が11時の予定でございます。成人の対象者は、平成11年4月2日から平成12年の4月1日の間に生まれた方となります。</p> <p>式典の内容につきましては、1の開式の言葉から、国家斉唱、日田市歌斉唱、成人証授与、市長式辞、議長挨拶、来賓祝辞、国会議員と県会議員代表2名となります。来賓登壇者紹介、知事メッセージ、祝電披露となります。その後二十歳の決意、市民憲章朗読、閉式の言葉と続きます。</p> <p>今回の式典では、例年ございました新成人の発表の御希望がありませんでしたので、急遽、日田出身で活躍されている方から新成人への応援を送る企画をいたしました。内容につきましては、知事メッセージ、祝電披露の後に、水郷ひた観光親善大使で舞踏家として活躍されている梅川壺ノ介さんに舞踊のご披露をいただくこととなりました。時間は、五分ほどで、ご本人も出演を御承諾いただいております。この点につきましては申し訳ありませんがこの場で追加修正をお願いいたします。式典につきましては12時までとなっておりますが、この舞踊の披露がございますので5分ほど下がります。</p> <p>続きまして新成人の対象者でございますが、現在608名を予定しております。男性292名、女性316名でございます。新成人の取組としまして、新成人から司会者に今回は女性2名、二十歳としての決意発表2名、国歌、日田市歌などを演奏するピアノ演奏者を1名、決定しております。新成人の記念品は成人式での地区ごとの写真を差し上げるようになっております。</p> <p>その他の取組としまして、小ホールを保護者用の会場として開放し、成人式会場の様子を映像で御覧いただくようになっております。また、広報ひた2月1日号で二十歳の決意の文と、成人式の様子の写真等を掲載する予定でございます。最後に、日田市歌及び国歌斉唱は例年と同じく日田少年少女合唱団の方をお願いしております。教育委員の皆様には、御案内申し上げておりますので、御都合がございましたら、御出席のほうよろしく願いいたします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>報告第23号、令和2年日田市成人式についての説明でございました。これについて何か御質疑ございませんか。それではないよ</p>

<p>書 記</p>	<p>うですので次にまいりたいと思います。その他について、お願いいたします。</p> <p>それでは、1月定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>1月の定例教育委員会につきましては、1月23日、木曜日、13時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>1月期の定例教育委員会は、1月23日、木曜日の13時半から勉強会で15時から定例教育委員会ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼び者あり)</p> <p>それでは、そのように決定させていただきます。</p> <p>ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、以上で12月期の定例教育委員会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時34分</p>